

c. 踏切道種類別の事故件数、踏切道100ヶ所当たりの事故件数

踏切道数については7箇所減少しており、事故件数については全体で5件減少している。

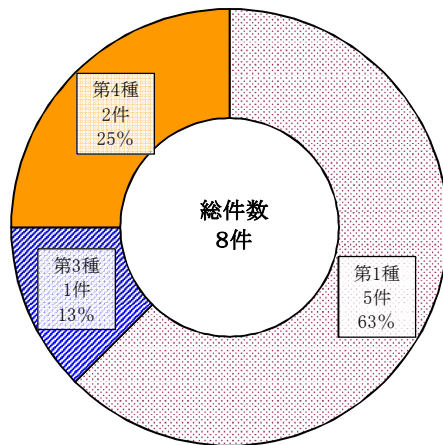
一方、踏切道100ヶ所当たりの事故件数を踏切道種別で比較すると、第3種踏切道及び第4種踏切道での発生率が高くなっている。

今後においても、さらなる踏切事故防止のためには立体交差化、第1種化等の踏切安全対策の充実の他、自動車運転者等への道路交通法の遵守・マナーアップ等の対策が必要である。

表-3 踏切道種類別事故件数、踏切道 100ヶ所当たりの事故件数の推移

踏切道種別	踏切道数		事故件数		踏切道 100ヶ所 当たりの事故件数	
	30年度	R01年度	30年度	R01年度	30年度	R01年度
第1種	2,523	2,521	9	5	0.36	0.20
第3種	81	79		1	0.00	1.27
第4種	234	231	4	2	1.71	0.87
合計	2,838	2,831	13	8	0.46	0.28

図-8 踏切道種類別事故件数(令和元年度)



ウ. 人身障害事故

発生件数については、20件となっており前年度(14件)より6件増加している。また、死傷者数は20名は前年度(14名)と6名増加している。

ウ. 人身障害事故

図-9 人身事故の原因別件数及び死傷者数の推移

